

林長官へ推薦確認書

面会時に教団側提示

関係者証言



林芳正官房副長官が2021年9月、世界平和統一家庭連合(日統・教団)の友好団体の関係者が面会しており、その際に教団側が当時、同月10月の衆院選に向けた事実上の「政策説明」にあたる推薦確認書を林氏側に提示して選挙支援を申し出していた、と複数の関係者が取材に語った。推薦確認書に署名はしなかった。

林芳正官房副長官が2021年9月、世界平和統一家庭連合(日統・教団)の友好団体幹部から「折衷案」の千葉県選出候補(右から二人目)・宇都宮真(右)＝関係者提供(林氏は隠れています)の人物の顔を隠しています

「NGBTは慎重に扱う」などの政策に賛同を求める推薦確認書を提示したという。内容を説明して、「選舉では支援します」と述べ、必勝と確かな千羽鶴を手渡した。

林氏から推薦確認書への署名はなかったが、その後、団体側は独立候補の林氏への投票を呼びかけるなどした、と関係者は語った。

林氏は参院議員からやくら替わって21年10月の衆院選に立候補して、当選した。

林氏は参院議員の21年9月、山口県宇部市の事務所で、教団の友好団体「世界平和連合」ナンバー2の事務総長と地元の幹部2人の計3人との面会。世界平和連合は教団創始者の故・文鮮明氏が創設した団体で、団体側は「憲法改正」

複数の関係者によると、林氏は参院議員の21年9月、山口県宇部市の事務所で、教団の友好団体「世界平和連合」ナンバー2の事務総長と地元の幹部2人の計3人との面会。世界平和連合は教団創始者の故・文鮮明氏が創設した団体で、団体側は「憲法改正」

だけで確認した。7日、週刊誌の取材を受けて確認したりして21年9月の面会を明らかにした。「多數ある面会の一つであり、相手がひいてう方も、そのよくな話をしたのか、現時点では定めたところ」もひと選挙事務所に文書で確認したといい、「アリの意見で認めた」とねの」なども回答があった。

当時の面会には、林氏の元秘書の横嶋圭一・宇都宮真(右から二人目)・宇都宮真(右)＝関係者提供(林氏は隠れています)の人物の顔を隠しています

側に依頼があり設定されたところ。一方、辯論氏は「田の足例の記者会見で『私自身が市長選の時競争にいため、事務所側に依頼をした』などと答えたが、林先生との面談をされていただいた」と説明した。宇都宮・赤井也、高島暉(編集委員・赤井也、高島暉)